

3 土砂災害に備えて 日頃の備えと早めの避難



土砂災害の危険がせまったとき、私たちは
どのような行動をとったらよいでしょうか？
どのようなことに注意したらよいのかを考え
ながら見てみましょう。



早めの避難～土砂災害の危険がせまってきたときの私たちの行動～

まちの人たちの行動

危険を知らせる努力

県や市役所・町村役場の人たちが車や徒歩で情報を
集めます。また、雨が降った量なども調べます。



情報収集

私たちの行動

危険を知り、被害者にならない努力

テレビ、ラジオ、インターネットなどで情報収集！

- ・今から雨がどのくらい降るのか？
- ・台風がいつごろに近づくか？
- ・近くで土砂災害が起きているところはないか？



危険性の判断、関係機関への連絡・避難場所開設

災害の情報を集めて、必要などころに連絡をします。
また、避難場所を開設します。



土砂災害の発生する
危険が高いですよ。
気をつけてください。

土砂災害警戒情報の発表

避難指示の発令

この場所は危険なので
避難してください！！



安全に避難
できるように、
地域の人や警察、
自衛隊など、
いろいろな人たちが
活動して
いるんです。

避難指示がでたら、
危険がせまって
いる合図じゃ。
安全を確保するために、
早めの避難を
実行しよう！

早めの避難

もっと教えて！砂防博士！！



Q1. なぜ「早めの避難」が大切なの？



避難しようとしたとき、雨や風が強くて歩くことが大変になっ
たり、強い風で物が飛んできてケガをする可能性があるん
じゃよ。安全に避難するためには、早めの行動が一番じゃ！！



Q2. 避難しても災害が起きなかったら意味ないんじゃない？



避難しても、
災害が起きなかったら
損した気分になっちゃうかも…
家でゲームだって
したいし…

早めに避難することは、いつ起こるかわから
ない災害から大切な命を守る一番の方法
じゃ。災害が起きなかったら、命も家も無事
だったということ！
損じゃない！何事もないのが一番じゃ！

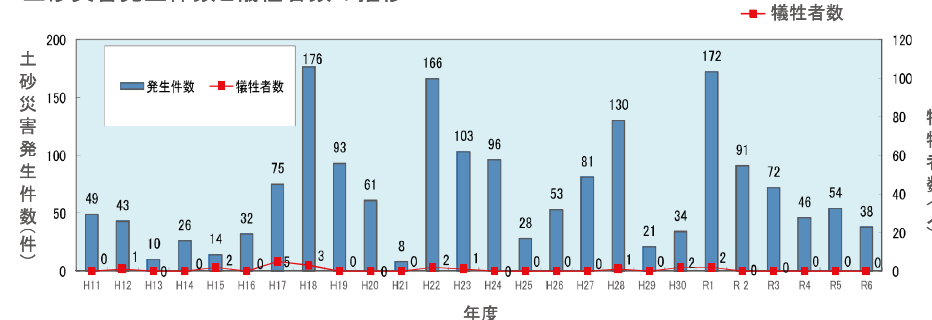


Q3. 「早めの避難」で本当に僕たちの命が守れるの？



鹿児島県では多くの土砂災害が起きているんじゃが、犠牲者がいない年も
あるんじゃ！これは、地域の人が協力して、早めに避難するなどの身を守る
行動をしたおかげでもあるんじゃよ！

土砂災害発生件数と犠牲者数の推移



※ 桜島での国が管理する区間の土石流災害は除く

まとめ

土砂災害から私たちの大切な命を守るためには、

- みんなで協力し、災害にあわないための努力「日頃の備え」を忘れないこと！
 - 災害の危険がせまったときは、みんなで助け合って「早めの避難」をすること！
- この2つが大切なんじゃ。

実際に、「日頃の備え」と「早めの避難」をしっかりと実行して、
土砂災害の犠牲者ゼロに取り組んでいるまちがあるんじゃよ！
最後に、どのようなことに取り組んでいるのか、
そのまちの人たちに話を聞いてみよう！

